

自ら学び、表現する児童の育成

～幼稚園や地域、異学年交流を通して～

1. 設定理由

創立146年を迎えた本校は、近年の少子化に伴い、1・2年が単学級になった。また、川上幼稚園との交流は、2003年から続いており、教育活動の中に根付いている。児童は、学びの根本にある関心・意欲は比較的高いが、思考を要する課題解決やそれに伴う表現力については課題がある。

そこで、幼稚園や地域、異学年児童とのかかわりを取り入れた活動や体験の一層の充実を図り、幼小交流や1・2年の交流が円滑に進められるようにすると共に、自ら学び、豊かに表現できる児童を育成したいと考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

○人とのかかわりを重視した活動を多く取り入れれば、興味関心が高まり、主体的にとりくむ児童が育つであろう。

○一人ひとりの気付きを伝え合えるような指導の工夫をすれば、気付きの質が高まり、表現する力が身に付くであろう。

3. 研究内容

①人とのかかわりを重視した活動の工夫

②相手意識をもたせる工夫

③伝え合い、交流する活動の工夫

④表現活動の工夫

4. 結 論

○交流の前に、名前入りの写真を提示したり年間を通したペアを設定したりしたことで、相手意識をもち主体的に活動することができ、相手の立場になって考え相手の喜びと一緒に喜ぶことができるようになってきた。

○交流を年3回繰り返し行ったことで、園児に喜んでもらおうという目的意識をもつことができ、回を重ねるごとに意欲が高まり、試行錯誤しながら活動することができた。また、保育園の保護者の関心や安心感も高まった。

○幼小交流会からの流れを1・2年の交流につなげたことで、入学後の1年生の不安感を取り除くことができた。また、2年生は進級の喜びや自信をもつことができた。

○「はっけんアイテム」や「思考ツール」、「タブレット」の活用により、視点が明確になり自分や友だちの考えをはっきりさせることで、活発に意見交流を行うことができた。

I 研究主題

自ら学び、表現する児童の育成

～幼稚園や地域、異学年交流を通して～

II 主題設定の理由

(1) 学習指導要領から

生活科の目標は、「具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。」とあり、その資質・能力を以下のように示している。

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらのかかわり等に気付くとともに、生活上必要な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

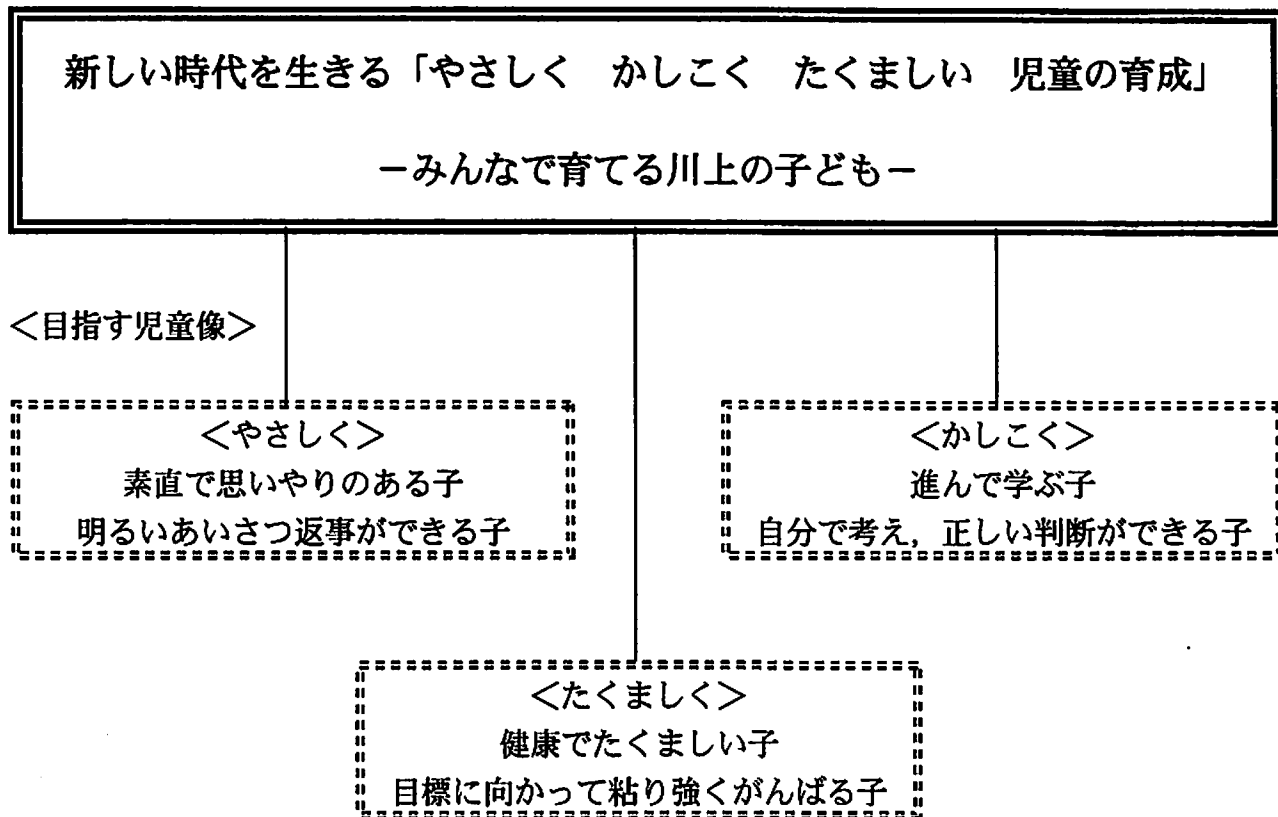
「第1学年及び第2学年」の目標の中には、(1)「地域のよさに気付き、愛着をもつことができるようにする」(3)「身近な人々、社会及び自然とのかかわりを深めることを通して」とあるように、児童が地域や身近な人々と「かかわり」「愛着をもつ」ことが重視されている。児童が活動を通して、地域の人々や場所のよさに気付くとともに、それらを大切にする気持ちや地域に積極的にかかわろうとする気持ちを、一層強くもつようにしていくことが大切である。

また、「生きる力を育む」ことを目指していることは引き続き継承されており、総則の中で「思考力、判断力、表現力等を育成すること」と示されている。そこで、それらを踏まえて、人とかかわりの場の工夫を通して自ら学び、表現する児童の育成を目指すため本主題を設定した。

また、今回の改定では、「合科的・関連的な指導や、弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をすること。」「幼小の円滑な接続や教科等横断的な学習の重視」についても記載されている。そこで合科的・関連的な指導も取り入れながら、幼小交流や1・2年生の交流が円滑に進められるように計画・実践していきたいと考え本主題を設定した。

(2) 学校教育目標と目指す児童像から

＜学校教育目標＞



上のような学校教育目標設定の背景には、学習指導要領が目指す「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」としての「生きる力」の育成がある。「進んで学ぶ子」を目指すには、主体的な学びの姿勢が必要である。そこで、地域の人々や異校種、異学年の人とかかわりながら、自ら学ぶことができるようにしていくことで、教育目標に迫ることができる考えた。

(3) 児童の実態から

本校は創立146年の八街市の中で最も古い伝統校である。八街市のほぼ南に位置し、畑と水田の農地に囲まれた自然豊かな農業地域であるが、サラリーマン家庭が多く、農業に従事している保護者は少ない。教育後援会が小学校のバックアップをしてくださるなど、学校教育への関心は高い。近年の少子化に伴い、1・2年が単学級になったため、全校で12学級251名の中規模校である。また、川上幼稚園との交流は、2003年から続いており、教育活動の中に根付いている。

本校児童は、全体的に明るく穏やかで学校生活のルールを守ろうとしており、縦割り活動の遊びも活発である。学習面については、学びの根本にある関心・意欲は比較的高いが、思考を要する課題解決やそれに伴う表現力については課題がある。まず、「表現したい」という意欲をもたせ、表現力につなげていく手立てが必要である。そこで、生活科の学習の中で人とかかわりを取り入れた活動や体験の一層の充実を図ることで気付きの質が高まり、「表現したい」という意欲の向上につながると考えた。

Ⅲ 研究仮説と手立て

<仮説1>

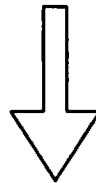
人とのかかわりを重視した活動を多く取り入れれば、興味関心が高まり、主体的に取り組む児童が育つであろう。

<「主体的に取り組む」とは>

「主体的」…自分の意志、判断に基づいて行動するさま。

…何のためにやるのか目的を掲げ、それを満たすために行動すること。

「主体的に取り組む」とは、学習に積極的に取り組むだけでなく、学習後に自らの学びの成果や過程を振り返ることを通して、次の学びに主体的に取り組む態度のこと。



相手意識をもち、繰り返し活動、体験する場の工夫が必要

<手立て>

①人とのかかわりを重視した活動の工夫

- ・地域の人々とのかかわり（町探検、畑の先生、アサガオを通じた交流等）
- ・幼稚園の園児とのかかわり（年3回の交流、アサガオを通じた交流）
- ・他学年の児童とのかかわり（学校探検、アサガオの種まき、町探検、各発表会への招待）
- ・保護者とのかかわり（町探検、サラダパーティー、各発表会への招待）

②相手意識をもたせる工夫

- ・自己紹介
- ・写真の掲示（名前入り）
- ・年間を通したペアの設定（1・2年生のペアと幼小交流のペア）

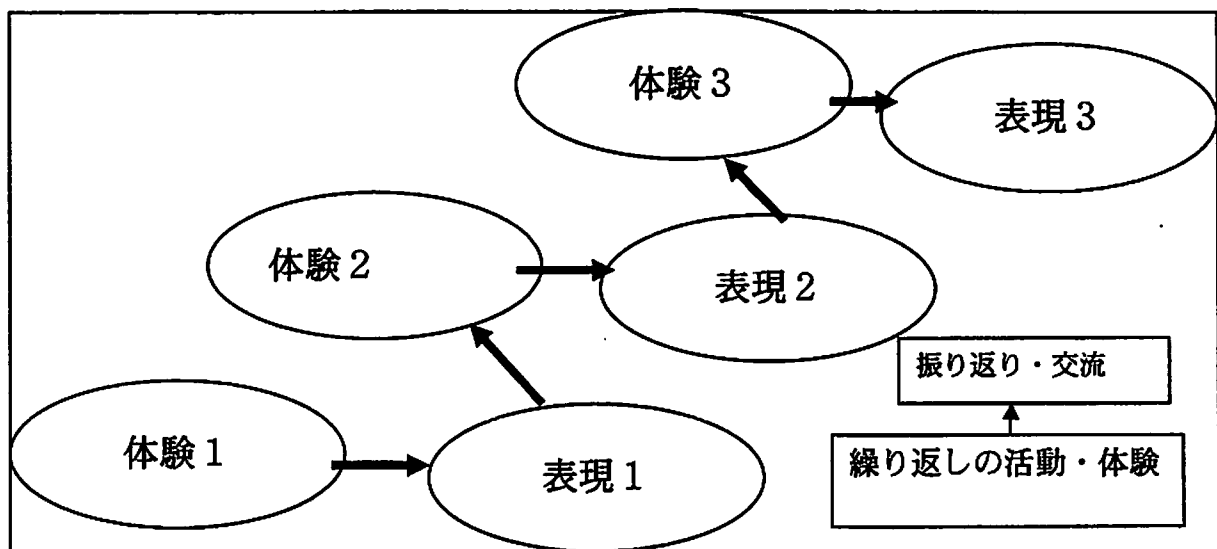
<仮説2>

一人ひとりの気づきを伝え合えるような指導の工夫をすれば、気づきの質が高まり、表現する力が身に付くであろう。

<「気づき」とは>

- ①対象に対する一人一人の認識
- ②児童の主体的な活動によって生まれる
- ③知的な側面だけでなく、情意的な側面も含まれる
- ④次の自発的な活動を誘発する

<「気づきの質の高まり」とは>



<手立て>

①伝え合い、交流する活動の工夫

- ・発見カードの常時掲示による児童相互の気づき
- ・友達との気づきの共有や個々の気づきを関連付ける交流の場の設定
(タブレットや写真、ビデオの活用等)
- ・思考ツールを活用した情報交換や思考の可視化
- ・目的意識、相手意識をもった学習計画 ・教科を超えた指導計画の工夫

②表現活動の工夫

- ・気づきの観点の明確化(「はっけんアイテム」(五感を使った気づき)の活用・発見カード(自分自身への気づき・目的意識の明確化)の工夫)
- ・表現活動の仕方の提示(言葉・身体表現・絵・紙芝居・新聞・劇・文等)
- ・表現の言葉の例示
 - ・「～みたいに」「～ぐらい」(比喩)
 - ・「同じところは～」 「違うところは～」(相違点)
 - ・「数字で表すと～」 「形は～」 「色は～」等

IV 実践例 I

(1) 単元名 ようちえんのともだちと なかよし (1 学年)

(2) 単元の目標

- ・ 幼稚園の友達と進んで交流しようとしている。 (生活への関心・意欲・態度)
- ・ 幼稚園の友達に対する接し方を考えている。 (活動や体験についての思考・表現)
- ・ 幼稚園の友達と一緒に遊ぶことで、新たな発見や友達のよさを発見したり、自分のよさに気付いたりすることができる。 (身近な環境や自分についての気付き)

(3) 活動の実践 (26 時間扱い)

月	時数	・ 学習活動 ○ 支援	◎ 評価 ☆ 仮説
6 月	5	あさがおを ぶれぜんとする けいかくをたてよう ・ 育てているアサガオをどうするか話し合う。 ・ 話し合ったことをもとに、計画を立てる。 ・ 手紙を書き、決めた相手にプレゼントを渡す。  幼稚園の友達にあげたい。 朝「おはよう」と言ってくれるおじさんにあげたい。 ○思考ツールを使って話し合うことで、自分と友達との考えの違いや共通点に気付くことができるようにする。	☆仮説 1 ①地域の人々、幼稚園とのかかわり ②自己紹介 仮説 2 ①思考ツール ◎誰に渡すか考えて、アサガオをプレゼントすることができる。 (思考・表現) 商店の方へ 川上幼稚園へ  資料 3, 4, 5, 8
6 月	5	なかよしのかいをしよう。 第 1 回幼小交流会 ・ 写真の掲示物を交換しペアの顔と名前を覚えておく。 資料 6 ・ 川上幼稚園に行ってなかよしの会をする。 ①はじめの会 ②ペアの友達と自己紹介 ③じゃんけん列車 ④ペアで園庭遊び (砂場・ドッジボール・遊具・鬼遊びなど) ⑤終わりの会  幼稚園の友達は楽しんでるかな。 ・ なかよしの会の振り返りをする。	☆仮説 1 ①幼稚園とのかかわり ②写真の掲示、年間を通したペアの設定 ◎川上幼稚園に行って、ペアの友達と一緒に仲よく活動することができる。(思考・表現) ペアの〇〇君、これからよろしく。 

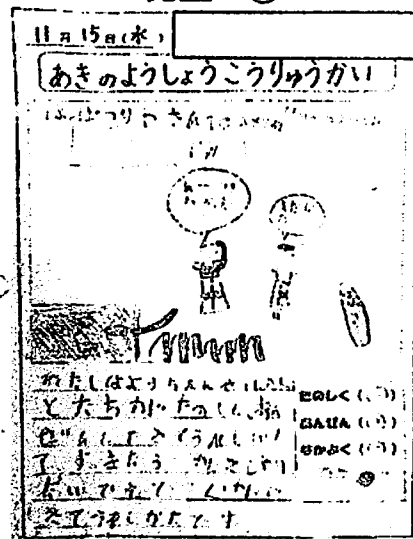
11 月	8	あきのなかよしのかいをしよう。 ・秋を見つける。 ・秋のおもちゃ作りをする。 ・秋のなかよし会の計画、準備をする。 看板に絵を描いて、何をやるか分かり易くしよう。 第2回幼小交流会 ・ペアの友だちに秋の遊びを紹介する。 ○場の設定を工夫し、幼稚園の友達が楽しく遊べる方法をグループで相談しながら活動できるようにする。 ・秋のなかよし会の振り返りをする。 資料9	☆仮説1①幼稚園とのかかわり ②写真の掲示、年間を通したペアの設定 ◎川上幼稚園の友達を招待し、作ったものを使って一緒に秋の遊びをすることができる。 (思考・表現) 秋の遊び ・葉っぱのトランプ ・どんぐりごま ・どんぐりおみじ ・はっぱつり ・どんぐりボーリング ・どんぐりの当て
2 月	8	冬のなかよしかいをしよう。 ・新1年生に何を教えてあげたいか、話し合う。 ・冬のなかよし会の準備をする。 第3回幼小交流会 ・ペアの友達に川上小学校のことを教える。 ①はじめの会 ②ミニ朝の会（健康観察） ③国語（運筆） ④音楽（歌とダンス） ⑤学校探検 ⑥終わりの会 ○小学校入学が楽しみになるような活動内容や声掛けの方法をあらかじめ考えておき、意識しながら幼稚園の友達と接する事ができるようにする。 ・冬のなかよし会の振り返りをする。 資料10、12、13	☆仮説1①幼稚園とのかかわり ②写真の掲示、年間を通したペアの設定 ◎新しい1年生のことを考えて、川上幼稚園の友達に川上小学校のことを教えることができる。（思考・表現） 鉛筆の持ち方を教えてあげるよ。 入学を待ってるよ。

(4) 児童の変容

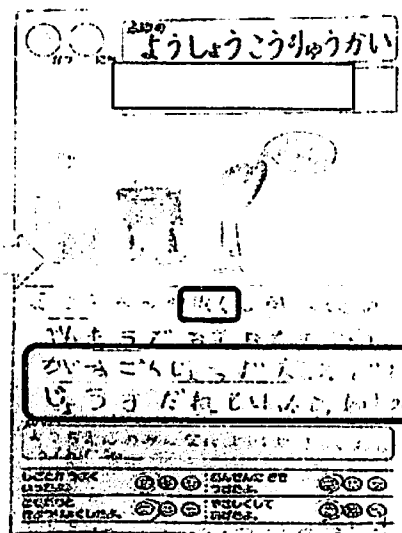
児童A①



児童A②



児童A③



はじめは「ドッジボール」で遊んだ事実
だけしか捉えられていないが、2回目には
「幼稚園の友達が楽しく安全に遊べてよ
かった」と、幼稚園の友達を意識して活動
できるようになっている。更に3回目の交
流会では、「幼稚園の友達」ではなく、「○
○君」と、表記方法が個人名になっている
ことに加え、幼稚園の友達を意識的に褒め
るようになった。児童Aはそれに対してお
礼を言って貰えたことが嬉しかったこと
が強く印象に残っているようだった。交流
会の回を重ねるにつれて、主体的に児童が
幼稚園の友達と関わろうとするようにな
り、また、幼稚園の友達と接することに喜
びを感じるようになった。

第1回幼小交流会

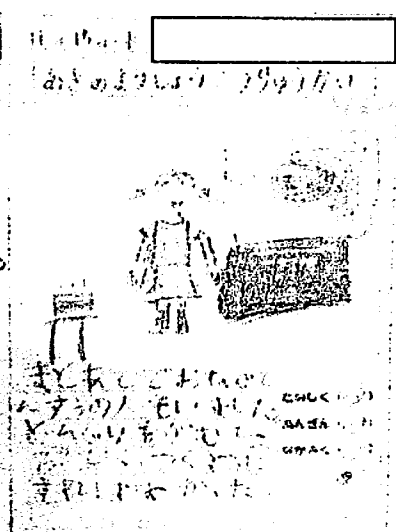
第2回幼小交流会

第3回幼小交流会

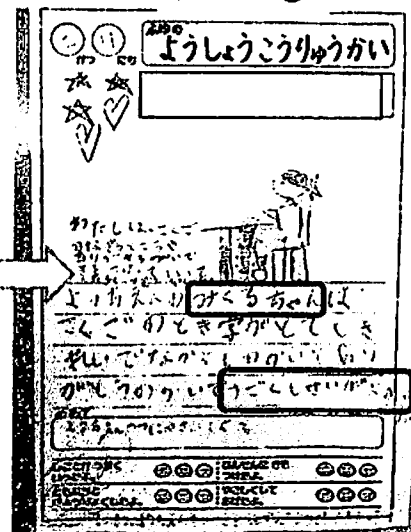
児童B①



児童B②



児童B③



第1回、第2回では、遊びの内容や、自
分の活動に対しての感想が多いが、第3回
目は、個人名を挙げ、ペアの友達の字が綺
麗だったことや、姿勢が良かったことなど
が書いてあり、自然と幼稚園の友達に注目
しながら活動できていたことがわかる。ま
た、意識的に褒めたり、次の指示を出した
りしながら活動することができるようにな
った。3回の交流会や、その準備とふり返
り活動を通して、だんだんと進んで幼稚園
の友達と関わることができるようになった
ことがわかる。

V 実践例Ⅰ

(1) 単元名 春はっけん (2 学年)

(2) 単元の目標

- ・ 2 年生になった喜びを、家族や友達と感じ取ろうとしている。(生活への関心・意欲・態度)
- ・ 栽培や校庭及び通学路の様子から、春を感じるとともに、自然に親しむことができる。

(活動や体験についての思考・表現)

- ・ 1 年生に親切にするとともに、自分の成長を感じることができる。

(身近な環境や自分についての気付き)

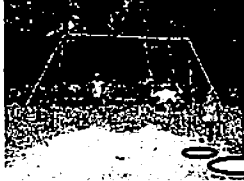
- ・ 通学路や学区を歩き、人々の暮らしの様子や自然の変化、安全を守っている施設や人々に気付くことができる。

(身近な環境や自分についての気付き)

(3) 活動の実践 (16 時間扱い)

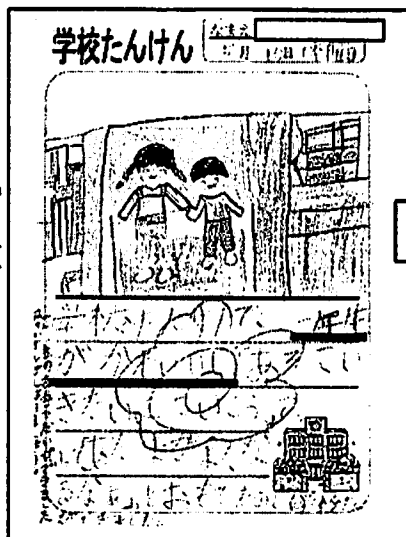
月	時数	・学習活動 ○支援	◎評価 ☆仮説
4	4	1 ねんせいをむかえるかいをひらくじゅんぴをしよう。 ・ プレゼントを作成したり、レクリエーションのルールについて話し合ったりする。 ・ 学校を案内するために、予察する。 ○「自分が 1 年生だったらどうしてほしいか」を考えさせて、子ども達の願いを明確にさせる。	☆仮説 1 ①目的意識・相手意識 ◎1 年生を楽しませる方法を考えて準備をすることができる。 (思考・表現)
1	1	① 1 ねんせいとペアをつくってじこしょうかいをしよう。 ② 1 ねんせいにアサガオのたねのまき方を教えてあげよう。 ・ 学校探検のペアを作り、互いに自己紹介をして顔と名前を覚える。 ・ 1 年生にアサガオの種の蒔き方を教える。	☆仮説 1 ②自己紹介
5	3	1 ねんせいをむかえるかいをしよう。 ・ 1 年生に学校案内をする 校長室や職員室の入り方を教えてあげよう。 ・ プレゼントを渡したり、レクリエーションをしたりする。 ・ 1 年生を迎える会の振り返りをする。	☆仮説 1 ①他学年とのかかわり ◎1 年生に親切にする中で、1 年前の自分を思い出し、成長に気付くことができる。(気付き)

資料 16, 17, 18

5	8	①春をさがしに、ペアの1年生となかよく町たんけんに行こう。 ②1年生に教えてあげたり、いっしょにあそんだりしよう。 ・通学路や公園の中に春を見つけて楽しむ。 ・1年生と合同で町探検に行き、通学路や学区を紹介したり、公園で一緒に楽しく遊んだりする。   ○見つけたものを写真に撮らせるようにして、いつでも振り返ることができるようにする。 ・町探検の振り返りをする。	☆仮説1 ①他学年とのかかわり、 仮説2 ①教科を超えた指導計画の工夫 ◎学校探検の反省や改善点を生かして、1年生に親切にするとともに、自分の成長を感じることができる。(気づき) 1年生と遊んだり、虫を捕まえたりしてすごく楽しかった。
---	---	--	--

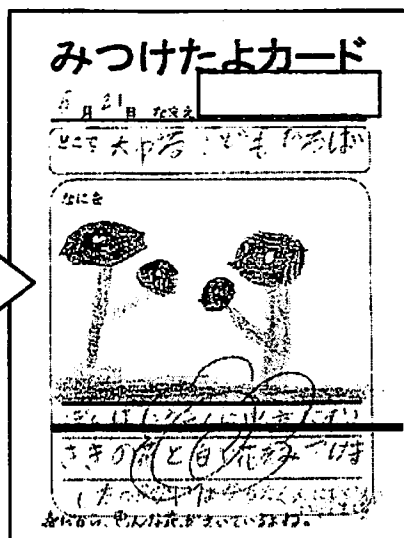
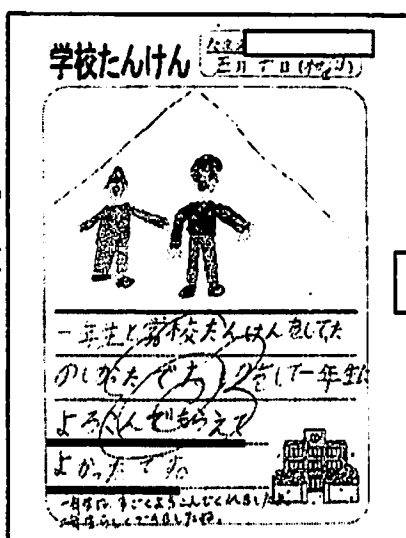
(4) 児童の変容

児童A



「学校探検」では、ペアの1年生に対して、「かわいい」という見方をされていて、楽しかったという感想をもった。「町探検」では、年上であることを自覚し、ペアの1年生が車にひかれられないように気を付けることができた。ペアの1年生を思いやりながら探検したことが分かる。

児童B



「学校探検」の振り返りカードでは、1年生と楽しくできたことや喜んでもらえたことをかいている。その後、「勝手に手を離してしまう1年生に何も言えなかった」と振り返ることができた。次の「町探検」では、危険を感じた場面で、「危ない」と言って、手を握ることができた。繰り返しの活動により、相手意識が高まり、思いやりの心が行動となって表現されたことが分かる。

VI 成果と課題

<仮説1>

人とのかかわりを重視した活動を多く取り入れれば、興味関心が高まり、主体的に取り組む児童が育つであろう。

- 1年生では、年3回の川上幼稚園との交流を行った。園児に喜んでもらおうという目的意識をもつことで、回を重ねるごとに意欲が高まり、試行錯誤しながら活動することができた。
- 幼小交流会からの流れを1・2年の交流につなげたことで、入学後の1年生の不安感を取り除くことができた。また、2年生は進級の喜びと共に、もっと仲よくなりたいという願いや活動への意欲をもつことができた。
- 幼稚園との交流会や野菜を育てる活動、町探検では、活動の前に名前入りの写真を提示したことで、スムーズに出会うことができ、親しみをもって活動することができた。
- 年間を通したペアを設定したことで、相手意識をもって活動することができた。その中で最初は自分の思いを優先していた子どもが、相手の立場になって考えるように変わっていき、上手にできたことを一緒になって喜ぶことができた。
- アサガオの苗を川上幼稚園や地域の方にプレゼントし、お礼の手紙をいただいたことで、地域の方とのつながりができたことが実感できた。
- 幼稚園との行事の兼ね合いで日程調整が難しかった。また、天候や感染症の流行により、延期になることもあった。今後も、幼稚園と話し合いをもち連携を取り合いながら幼小交流を進めていきたい。

<仮説2>

一人一人の気付きを伝え合えるような指導の工夫をすれば、気付きの質が高まり、表現する力が身に付くであろう。

- はっけんカードを「ピングカード」にし、自分が発見したものも書くことができるようにしたことで、個に応じたはっけんカードになり、一人一人の気付きを記録することができた。
- 「はっけんアイテム」により観察の視点が明確になり、意欲的に取り組むことができた。
- グループでの話し合いの際には、思考ツール（KJ法）を活用したことにより、自分の考えをはっきりさせたり、友達のことを理解したりして、自分との違いに気付くことができた。
- はっけんカードを掲示板に貼り、児童の目に触れるようにしたことで、情報の共通理解ができ、自分の考えとの相違点がはっきりし、友達のよさに気付く児童もいた。
- 探検や話し合いの交流の場でタブレットを使って、画像を撮影したり、画像を見て振り返ったりすることにより、気付きが明確になり次の活動への意欲につながった。
- 思考ツールを活用した話し合いでは、付箋に書くことに手間取り話し合いの時間が十分ではなかった。
- 表現の言葉の例示により、作文や朝の会のミニスピーチ、算数等の発表で気付いたことを表現できるようになってきているが、今後も教科を超えた表現活動へと続けていく必要がある。
- 表現活動の場で、様々な表現方法があることに気付かせていったが、偏りがちであった。それぞれの気付きに適した表現ができるように、次単元で工夫していきたい。

資料編

目次

資料の題名	ページ
資料 1 八街市幼小中高連携教育について	1
資料 2 交流年間計画	2
資料 3 アサガオの苗に添えてプレゼントした 1 年生の手紙	3
資料 4 地域の方よりいただいたアサガオのお礼の手紙	
資料 5 アサガオの前での幼稚園児	4
資料 6 1 年生と幼稚園生の個人写真の掲示物	
資料 7 幼小連携教育 川上小学校と川上幼稚園との交流計画	5
資料 8 第 1 回 川上幼稚園との交流会 実施計画	6
資料 9 第 2 回 川上幼稚園との交流会 実施計画	7、8
資料 10 第 3 回 川上幼稚園との交流会 実施計画	9、10
資料 11 幼小交流会の振り返りカード	11
資料 12 幼少交流会後の幼稚園の保護者からの手紙	12
資料 13 幼小交流会後の幼稚園の園長先生からの感想	
資料 14 仮説 2 表現活動の工夫「表現の言葉の例示」	13
資料 15 はっけんアイテム	
資料 16 アサガオの種を蒔いた後の 1 年生の振り返りカード	14
資料 17 2 年生のアサガオの種のプレゼント	
資料 18 学校探検を終えた後の 1 年生の振り返りカード	15
資料 19 町探検の時に活用したビンゴカード	
資料 20 町探検を終えた後の 1 年生の振り返りカード	16
資料 21 町探検のメモを元に国語科で書いた 2 年生の作文	
資料 22 「表現の言葉」を使った振り返りカード	17
資料 23 「はたけの先生とのかかわり」	18

…八街市幼小中高連携教育について…

八街市幼小中高連携共通6項目

	幼稚園・保育園	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校・高等学校
1. 話を静かに聞くことができる	そばか、かみしばい、おはなしをして、すかたとく	話の人を見て、静かに聞くことが出来る	話の内容をきながら、静かに聞くことができる	自分の考えと比べながら、静かに聞くことが出来る	自分の話を述べて、ともに、他者の考えをきき止まりで話し合いをする事が出来る。
2. 指示を受け止め行動できる	はなしをきいて、うごく	話をよく聞き、正しく行動できる	話の内容を理解し、正しく行動できる	指示を受け止め、最後まで責任をもってやり遂げることができる	指示をもとに自分自身で考え、良いと思うことについて進んで行動することができる。
3. 思いとついでをいえる	わかれ、ついで、いえる	元氣よく、思いとついでをいえる	進んで、思いとついでをいえる	思いとついでをいえる	自分と他者の思いとついでをいえる
4. 正しい言葉づかいができる	さいとまではなしかける	でいねいな言葉づかいで話すことができる	相手に応じた言葉づかいができる	時と場合を考え、相手に応じた言葉づかいができる	時と場合、周りの状況に合わせ、正しい態度と言葉づかいで話をする事が出来る。
5. 掃除ができる	つか、たもの、り、たづねができる	たづね、掃除ができる	進んで、掃除ができる	掃除を、掃除ができる	掃除の、掃除ができる
6. 自学ができる (自分のこと、自分でできる)	しよんの、しよん、自分でできる	たづね、掃除、自分でできる	進んで、掃除、自分でできる	掃除の、掃除、自分でできる	掃除の、掃除、自分でできる

指導のポイント

- | | |
|-----------------|-----------|
| ①教師の率先垂範 | ③指示の徹底・確認 |
| ②発達段階に応じた具体的な指導 | ④繰り返し指導 |
| | ⑤共通実践 |

資料 2

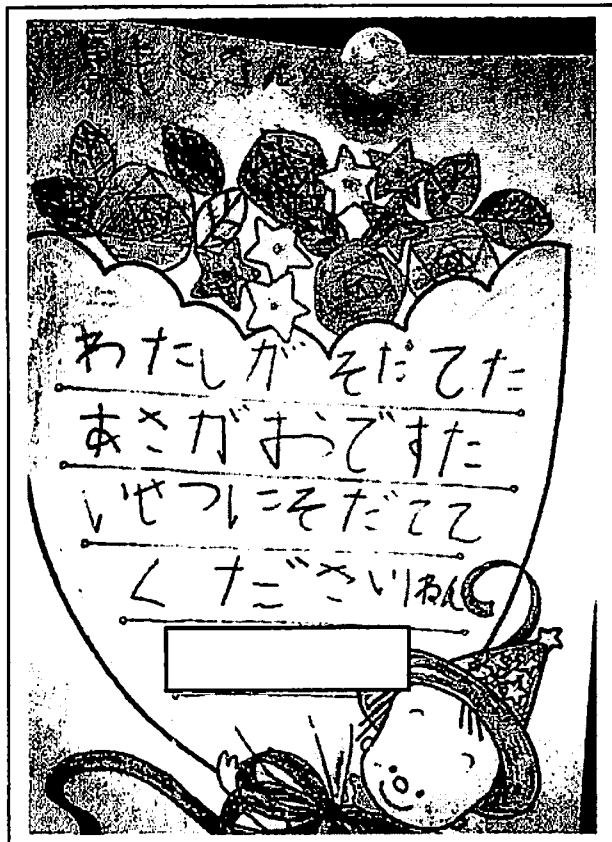
交流年間計画

月	幼稚園	1年生	2年生
4月	○始業式 ○入園式 ○たけのこほり ○新入園児歓迎会 ○園庭巡り	○みんななかよし<24> ・ともだちたくさんつくろう ・わたしの学校どんなところ(2年生) ・さいばい:はなややさいをそだてよう(2年生)	○春 はっけん<23> ・2年生になったよ(1年生) ・さいばい:はなややさいをそだてよう(1年生)
5月	○ザリガニ釣り ○交通安全教室 ○未就園児と遊ぼう	・わたしの学校どんなところ	・花ややさいをそだてよう
6月	○幼小交流会 ○水遊び	○なつとなかよし<11> ・はなややさいをそだてよう ・わたしがっこうのまわり(幼小交流・2年生)	・春のまちではっけん(1年生)
7月	○未就園児と遊ぼう ○水遊び ○じゃがいも掘り ○笹飾り作り ○カレー作り	・さいばい:はなややさいをそだてよう ・おもしろいあそびがいっぱい ・なつはたのしいことがいっぱい	○生きもの はっけん<11> ・いきているってすごい! ・はなややさいをそだてよう ・はっけんかんだう夏休み
9月	○始業式 ○梨狩り ○ふれあい交流会(お年寄りへのプレゼント) ○運動会	○あきとなかよし<35> ・いきものとなかよし ・さいばい:はなややさいをそだてよう ・こうがいがくしゅうへいこう	○わたしのまちははっけん<31> ・町には はっけんがいっぱい
10月	○さつまいも掘り	・あきとふれあおう ・さいばい:はなややさいをそだてよう	・町には はっけんがいっぱい ・みんなのはっけんをあつめよう ・町の人につたえたい
11月	○お店屋さんごっこ ○水栽培(ヒヤシンス) ○幼小交流会 ○もちつき会 ○未就園児と遊ぼう	・あきとふれあおう ・つくろうあきのおくりもの(幼小交流)	・みんなのはっけんをあつめよう ・町の人につたえたい ○いきものはっけん<4> ・花ややさいをそだてよう
12月	○クリスマスの飾り作り ○合奏・音楽発表会 ○クリスマス会 ○名前を書く練習	○ふゆとなかよし<32> ・ふゆをみつけたよ ・かぞくでいっしょにおしょうがつ ・みんななぜのこ(2年生)	○はっけんくふうおもちゃ作り<8> ・おもちゃを作ってみよう ・おもちゃのひみつはっけん!(1年生)
1月	○始業式 ○お正月の遊び	・かぞくでいっしょにおしょうがつ	○自分 はっけん<28> ・はっけん自分のよいところ ・自分のこともっと知りたいな
2月	○幼小交流会 ○豆まき ○卒園遠足 ○なわ跳び大会 ○1年生へのプレゼント作り	・めいじんさんにむかしのあそびをおそわろう ・幼小交流会	・自分のこともっと知りたいな ・ようこそ、自分のはっけんはっぴょう会
3月	○未就園児と遊ぼう ○卒園式	・はるをさがそう ・もうすぐ2年生	・6年生ありがとうの会で感謝の気持ちを伝えよう ・ありがとうをとどけよう ・みらいにむかってはばたこう

※()は交流の相手

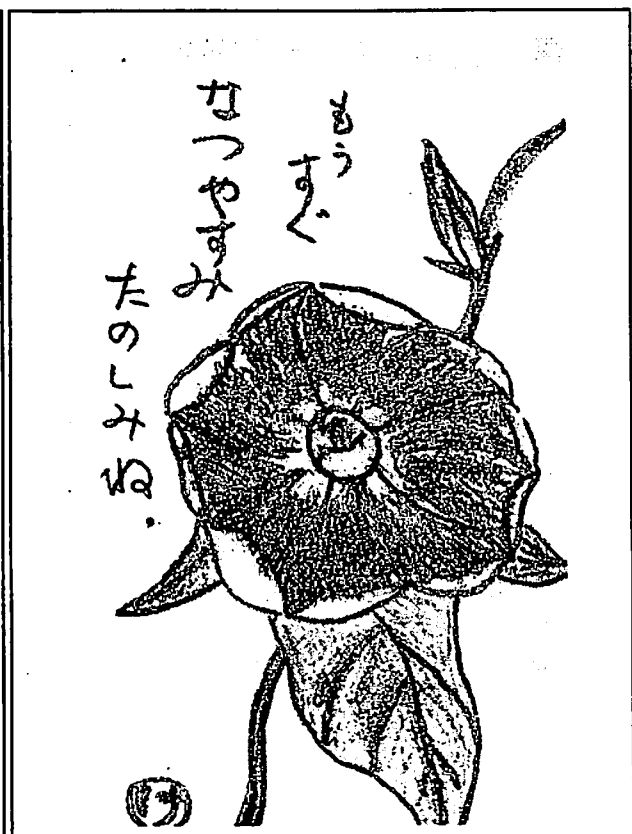
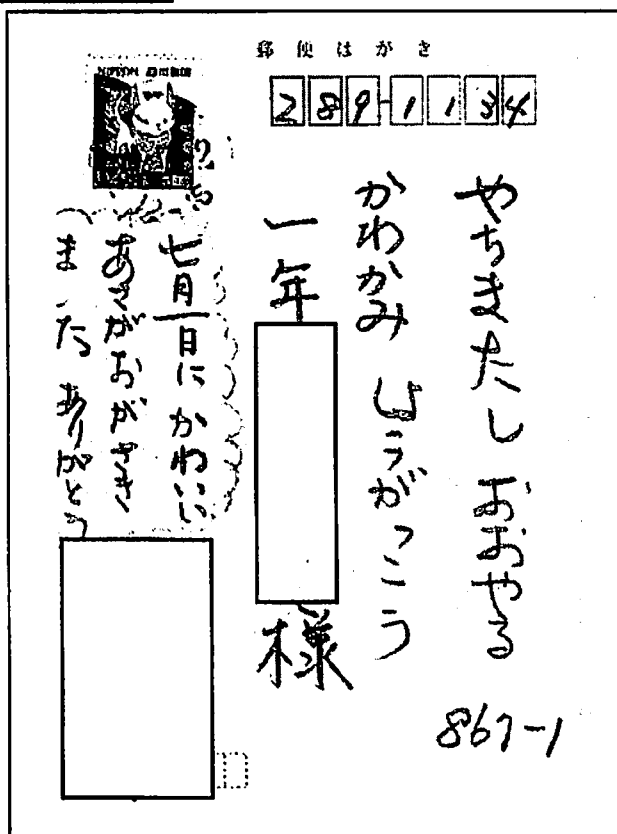
資料 3

アサガオの苗に添えてプレゼントした1年生の手紙



資料 4

地域の方よりいただいたアサガオのお礼の手紙



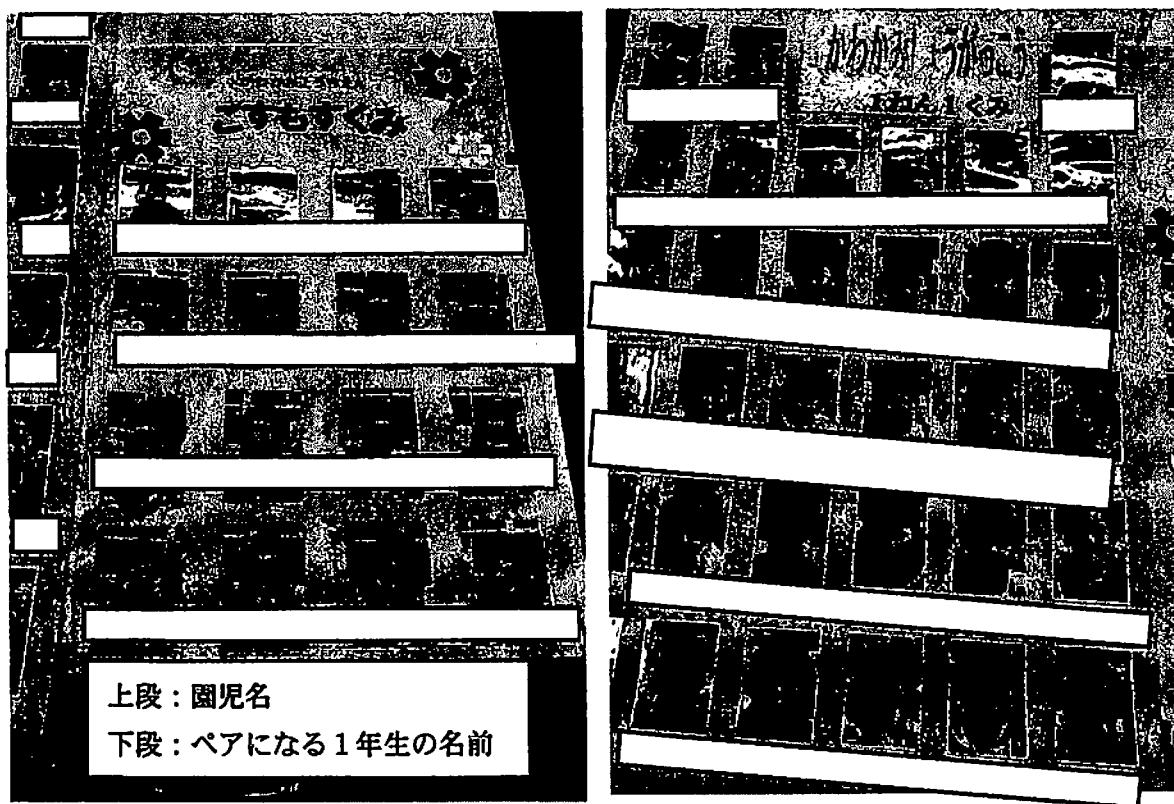
資料 5

アサガオの前での幼稚園児



資料 6

1 年生と幼稚園生の個人写真の掲示物 ...



資料 7

幼小連携教育 川上小学校と川上幼稚園との交流計画

川上小学校 第1学年

回 数	月 日	打ち合わせ	内 容
計 画	5月29日(月)		○1年間の交流計画を立てる。 ○第1回目の交流計画を立てる。 ○顔写真の交流(第1回目の交流までに…)
第1回	6月22日(木) *雨天 6月29日(水)	5 / 29	○「幼稚園で遊ぼう」 ・生活科「わたしの つうがくろ」の学習に関連させる。 ・1年生が幼稚園まで歩き、園児と班を作り、園庭と広場で仲良く遊ぶ。
第2回	11月15日(水) *雨天 11月28日(火)	9月下旬～ 10月上旬頃	○「秋のお楽しみ会をしよう」 ・生活科「つくろう あきのおくりもの」と関連させる。 ・園児が川上小まで歩き、体育館で秋の遊びを一緒に行う。 ※1年生が用意した遊びを共に楽しんだり、簡単なものを一緒に制作する。 (落花生人形は、アレルギーの園児がいるため作成しない。)
第3回	1月31日(火) *雨天 2月 1日(水)	1月	○「ようこそ1年生」 ・生活科「もうすぐ2年生」と関連させる。 ・園児が川上小まで歩き、1年生が小学校での生活の様子やできるようになったことなどを紹介する。
反省会	3月16日(金)		○1年間の交流活動を終えての反省 ○次年度の新入生についての引き継ぎ

※職員の打ち合わせは、反省会を含めて4回。

打ち合わせの場所は、会場の下見を兼ねるため、交流会が行われる会場で行う。

資料 8

第 1 回 川上幼稚園との交流会 実施計画

★日時 6月22日(木) 雨天…6月29日(木)

9:40～11:20 ※天候不安定の場合8:00までに幼稚園に連絡

★活動予定

9:00 低学年昇降口前集合

※注意事項の確認, 校長先生に挨拶をして出発

9:10 川上小学校出発

9:40 川上幼稚園到着 ※園庭からホールに入り, トイレ

9:50 はじめの会(園庭にて)

10:10 園庭での遊び…ドッジ, 砂場, 固定遊具

※1年生と園児がペア, あるいは3人組になってなかよく遊ぶ。ペアは離れずに遊ぶ。

※トイレに行きたくなったら, 室内のトイレを使うようにする。

※水飲みは, 随時行えるように教室前のテーブルの上に水筒を出しておく

11:00 集合 おわりの会(園庭にて)

11:10 トイレ, 水飲み

11:20 川上幼稚園出発

11:50 川上小学校到着

★児童の持ち物…通学帽子・名札・水筒・ハンカチ・ちり紙・タオル

★教員の持ち物…名札・救急セット・カメラ・安全旗・児童名簿・携帯電話・水筒・帽子

★引率…〇〇(児童・カメラ), 〇〇(特別支援), 〇〇(全体)

<はじめの会> ※各クラス向かい合い

◆司会 1 ()

○はじめのことば 2 ()

○校長先生のお話

○自己紹介(ペアを作り, 相手の名前を覚える)

※1年生と園児が隣り合うように移動する。

○ゲーム(かもつれっしゃ) ※幼稚園のCD

※もとの並び方に戻る

○諸注意 幼稚園の先生(〇〇先生)

○おわりのことば 3 ()

<おわりの会>

◆司会 4 ()

○はじめのことば 5 ()

○感想発表 マイク5 ()

○園長先生のお話(〇〇先生)

○おわりのことば 6 ()

引率職員打ち合わせ

6/21(水) 16:00

職員室にて

幼稚園との打ち合わせ 5月29日(月) 15:45～

反省会 10/17(火) 15:45 川上小学校にて

2学期交流会 11/15(水) 雨天予備日11/28(火)

資料 9

第 2 回 川上幼稚園との交流会 実施計画

○ 目的

秋の自然に親しみをもつとともに、年上としての自覚をもち、園児に親切に遊びを教えることができる。

○ 日 時 平成29年11月15日(水) 10:00~11:30

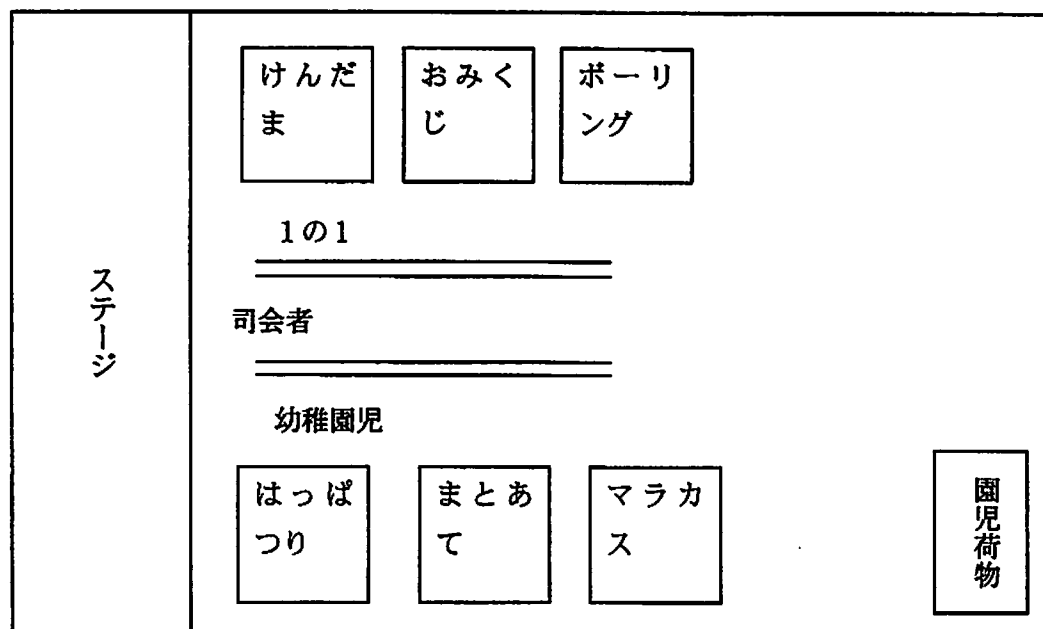
< 雨天 11月28日(火) …8:30 電話で確認 >

○ 場 所 川上小学校<体育館>

○ 内 容

時間	活動内容	担当者
9:15	幼稚園出発	
10:00	小学校到着 *トイレ、水飲み	
10:10	はじめの会	(司会1年〇〇さん)
	①はじめのことば	(1年〇〇さん)
	②1年生代表あいさつ	(1年〇〇さん)
	③園児代表あいさつ	(幼稚園〇〇さん)
	④校長先生のお話	(〇〇校長先生)
	⑤遊びのコーナーの紹介・約束	(1年〇〇さん)
	⑥おわりのことば	(1年〇〇さん)
10:20	<お楽しみ会>開始	
	・はっぱつりやさん	
	・まとあてやさん(オナモミかドングリ)	
	・マラカスやさん	
	・けんだまやさん	
	・ドングリボーリングやさん	
	・おみくじやさん	
11:00	1年生からプレゼント	*一人一人プレゼント
11:10	おわりの会	(司会1年〇〇さん)
	①はじめのことば	(1年〇〇さん)
	②感想発表	(1年〇〇さん) (1年〇〇さん)
		(幼稚園〇〇さん) (幼稚園〇〇さん)
	③川上幼稚園の先生のお話	(〇〇先生)
	④おわりのことば	(1年〇〇さん)
11:20	トイレ・水飲み	
1:30	小学校出発	
2:00	幼稚園到着予定	

○ 並び方



○ 準 備

- ・招待状（一人に一枚名前を記入） ※園児の名前に追加はないか確認
- ・コーナーの回り方について…スタンプラリーカードを首から下げて回る。
- ・プレゼントを入れる袋…園児が持参
- ・ステージ飾り「あきのおたのしみかい」…1年
- ・入り口飾り「ようこそかわかみしょうへ」…1年
- ・靴箱表示作成、掲示…〇〇先生
- ・あきのおたのしみかいスタンプラリーカード・シール…〇〇先生
- ・お店看板…1年

◆あきのおたのしみかい … 遊び方

お 店	内 容
はっぱつりやさん	葉っぱで作ったさかなをつります。
まとあてやさん	おなもみ（またはドングリ）を使って、的にあてます。
マラカスやさん	マラカスを使って、曲に合わせて踊ります。
けんだまやさん	まつぼっくりで作ったけんだまで遊びます。
ドングリボーリングやさん	ボールを転がして、ドングリが入ったペットボトルのピンをたおします。
おみくじやさん	葉っぱ（またはどんぐり）のくじを引きます。

○ 当日の準備 ・マイク ・放送機器（〇〇先生）

○ 反省会 11月 日（ ）

資料 10

第3回 川上幼稚園との交流会 実施計画

- 1 ねらい ・幼稚園生に、小学校生活の様子を教えることにより、もうすぐ2年生に進級するという意識をもたせる。
・幼稚園生と一緒に学習したり、活動したりして交流を深める。

2 日時 平成30年1月29日(月) 10:00~11:30
◇雨天1月31日(水)延期の場合8:30電話 幼稚園→川上

3 場所 川上小学校1-1教室

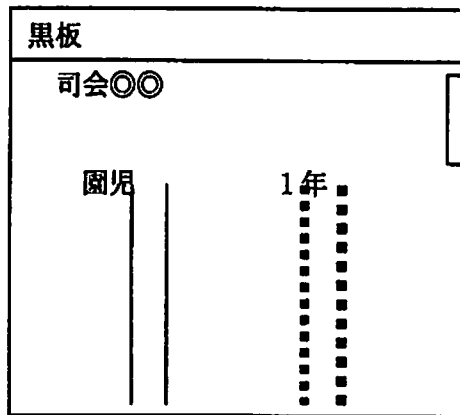
4 内容

時間	活動内容	担当者
10:00	幼稚園児到着 ・南校舎駐車場側昇降口から入る。 ・靴は昇降口の靴箱に入れる。 ・トイレ、水飲み…1F ・荷物は、少人数教室後方に置く。	
10:10	はじめの会(少人数) ①かんげいのことば ②校長先生のお話 ③おわりのことば	(司会1年〇〇さん) (1年〇〇さん) (〇〇校長先生) (1年〇〇さん)
10:20	手をつないで教室へ移動	一人一人ペアを組んで
10:25	1-1教室で交流会を行う。 (1)朝の会 ①健康観察で幼稚園生の名前を呼名 ②歌「さんぽ」 (2)国語…ワークシート(運筆・色ぬり) *1枚・鉛筆、色鉛筆は1年生の物 (3)音楽…歌、ダンス	1年生は隣で、お手伝いをする。
10:50	トイレ(1年生2Fトイレ・園児1Fトイレ)	
11:00	校内見学(並んで見学)	一人一人ペアを組んで
11:15	おわりの会(少人数) ①はじめのことば ②感想発表(2名ずつ) ③プレゼント ④園長先生のお話 ⑤おわりのことば	(司会1年〇〇さん) (1年〇〇さん) (1年〇〇さん)(1年〇〇さん) (幼稚園〇〇さん)(幼稚園〇〇さん) 一人一人にプレゼント (〇〇先生) (1年〇〇さん)
11:25	帰りの用意 トイレ	
11:30	幼稚園児が川上小出発	

5 会場設定

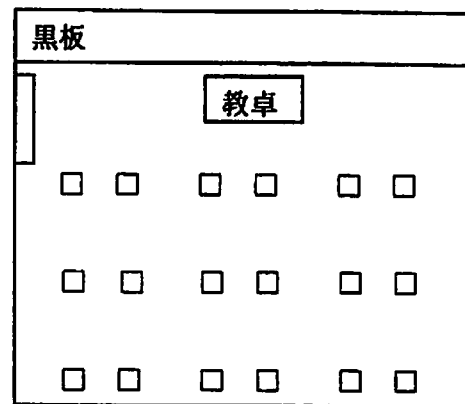
○少人数での隊形

(出席番号順男女2列)



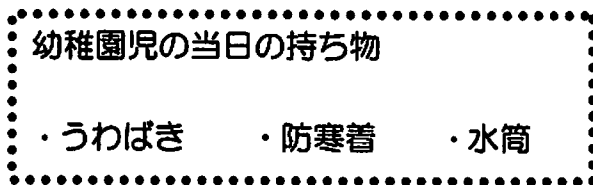
向かい合って座る

○1-1での隊形



□…机（園児）

小学生は□の横にしゃがむ



6 準備と当日までの流れ

- ①代表児童の決定…1/19（金）まで
- ②はじめの会、終わりの会などのリハーサル…1/26（金）4校時 少人数
- ③体育館の借用…なし
- ④靴箱表示…○○先生
- ⑤ワークシート…○○先生 1/19（金）まで
- ⑥ストーブ…○○先生
- ⑦マイク…なし
- ⑧招待状…なし
- ⑨ぼんぼん…○○先生

7 事後

- ・3/16（金）卒業式後15：30に反省会を川上小で行う。
- ・児童情報交換も行う。
- ☆名簿に気になることや特徴を記入して、お持ちください。

○ がつ ○ にち



かわかみようちえんに いったよ。

月 日 () 組

あきのようしょうこうりゅうかい

だのしく ()

あんぜん ()

きかよく ()

🐱 🐶

○ がつ ○ にち

ふゆの
ようしょうこうりゅうかい

しごとが うまく
いったよ。 ☺ ☺ ☺

ともだちと
きょうりよくしたよ。 ☺ ☺ ☺

あんぜんに きを
つけたよ。 ☺ ☺ ☺

やさしくして
あげたよ。 ☺ ☺ ☺

資料 12

幼小交流会後の幼稚園の保護者からの手紙

今日は一年生の元気にあどろきました。
うちの子供にも負けな目標を定めました。
思います。今日は楽しかったです。

幼小交流会に参加させて、いただいて、子供が
一年生になった。こんな事ができるようになるのかと
そう思うでました。とても楽しそうにしている子供たち
を見て私も入学が楽しみになりました。今日は、このような
楽しい会をひらいて頂き、ありがとうございました。

資料 13

幼小交流会後の幼稚園の園長先生からの感想

交流会の感想

第3回の交流会では、小学校の授業体験を設定
しているにしている。1年生が、園児ひとりひとりに
親切丁寧に教えてくれるよう、自分の名前を書い
たり、しるしを貼ったり等、どの園児も体験すること
なく、体験している。

「小学校、どんなことをするんだろう...」と心配
している子も、この体験を経ることで「私にもでき
そう!」という自信をもち、就学への準備が、より
進むようになっていると思う。

はなすときや かくときに つかってみよう

☆にているとき ~みたい, ~ぐらい (比喩)

☆くらべるとき おなじところは~, (相違点)
ちがうところは~

☆わかりやすく すうじであらわすと () こ
かたちは~, いろは~

はっけん アイテム



よく みてみよう



どんな におい かな



どんな おと かな



さわって みよう



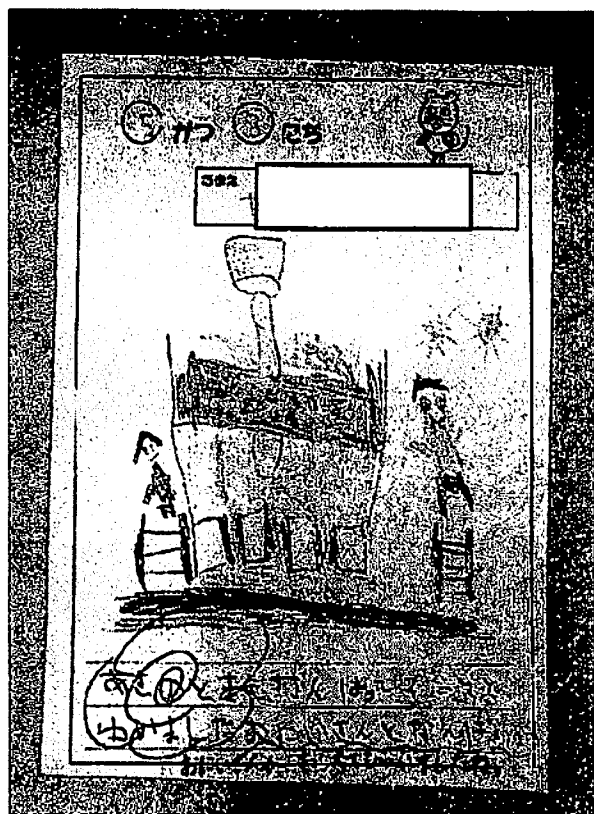
からだ ぜんたいで
かんじてみよう



こころで
かんじたことは?

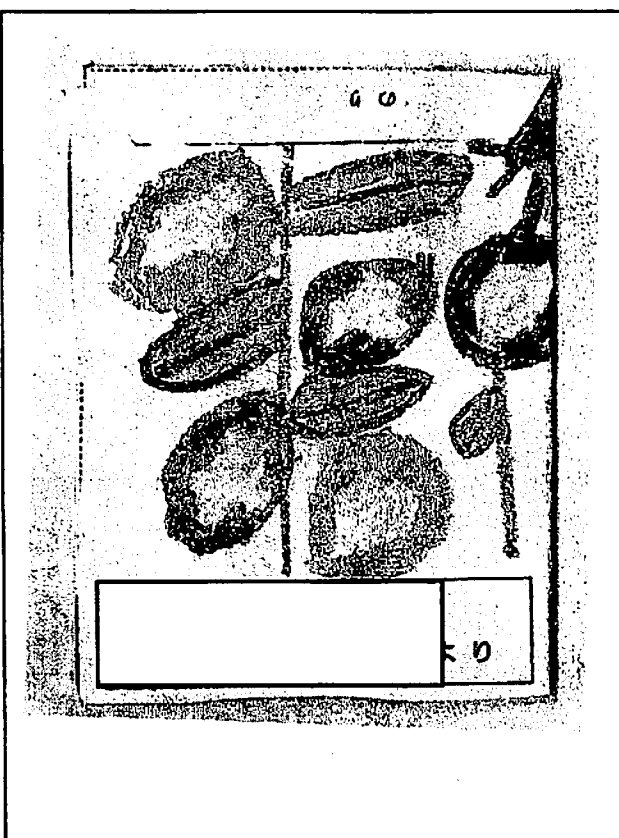
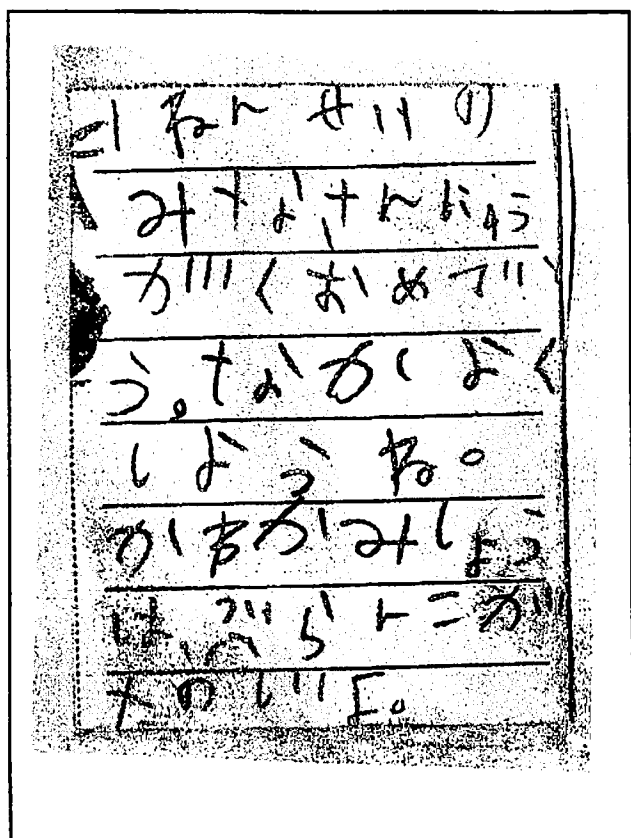
資料 16

アサガオの種を蒔いた後の1年生の振り返りカード



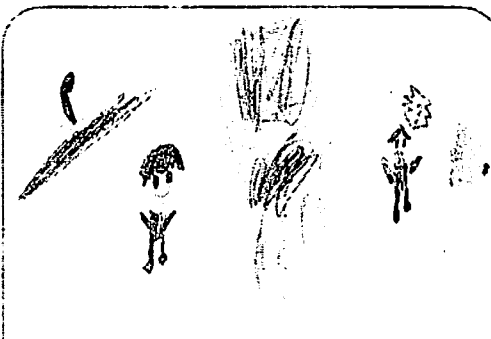
資料 17

2年生のアサガオの種のプレゼント



学校たんけん なまえ

5月10日(モク)



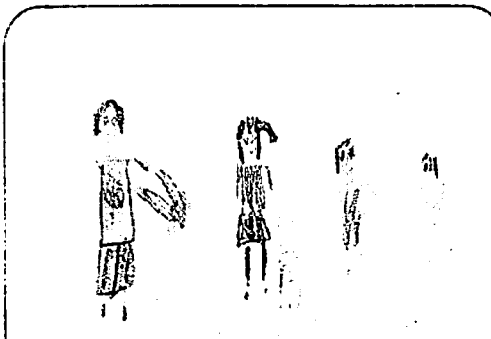
アナーキーっついでいるおみつけた
(はなわい)
けどおにいさんがいな
うしたまのちがいに
いた。



おにいさん、いしにたんけんした。

学校たんけん なまえ

5月10日(モク)

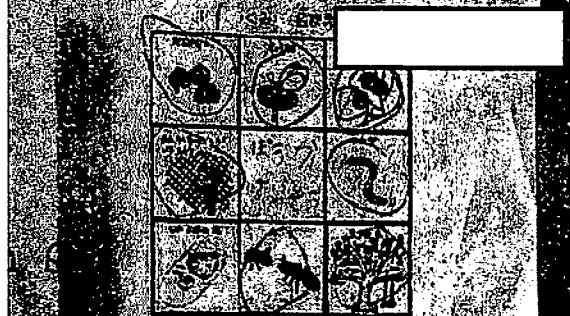


おみつけた
おみつけた
またやってくる



2人きりのふれんどうがうれしかった。

はるの町たんけん ビンゴカード



はるの町たんけん

はるの町たんけん

はるの町たんけん

はるの町たんけん

はるの町たんけん ビンゴカード



はるの町たんけん

はるの町たんけん

はるの町たんけん

はるの町たんけん

みつけたよカード

5月 2 日 なまえ

どこで みどりがおかこうえん

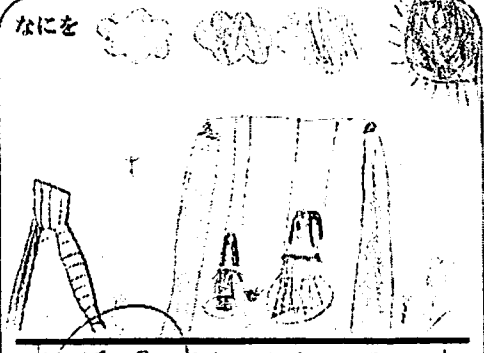
なにを 

まどくしといかりけんみたいなのは
みつけたよあとかたつむり
もみつけたよ。
ふしぎな町への おはなをみつけ
たね。すてき。

みつけたよカード

5月 21日 なまえ

どこで みどりがおかこうえん

なにを 

おねえさんとぶらんこであ
そびたのだった。
はあはあはあみつけたよ。
おねえさん なあに なれまいたね。

町たんけんをした

ぼくは、町たんけんをして大やる子とま
る場に行くときにペアの一年生の子グ
「わたしにもとうせで」
と言っていたから
「いいよ」
と言ってあげました。
みどりがおかのこう園では、たんぼがい
ばいざいていて

「花ばかりみたいだねー」と思いました。き
れいでした

町たんけんをした

ぼくは、町たんけんをして大やる子とま
る場に行くときにペアの一年生の子グ
「わたしにもとうせで」
と言っていたから
「いいよ」
と言ってあげました。
みどりがおかのこう園では、たんぼがい
ばいざいていて

